

1	会議名	第6回 学校運営協議会
2	日時	令和4年3月18日 午後6時15分から午後7時15分まで
3	会場	浦里小学校 音楽室
4	出席者	井澤良夫会長、田村実英副会長、橋元宣明委員 坂口善行委員、羽賀杏子委員、堀内寛子委員
5	市側出席者	なし
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	会議概要作成年月日	令和4年3月23日
協議事項等		
1	開 会	
2	井澤良夫会長挨拶	
3	学校長挨拶	<ul style="list-style-type: none"> ・学校目標「自分のよさを切り拓く子ども」を目指し、子どもたちが主体的に学んでいけるよう、子どもたちの気づきや疑問からスタートする授業にしていきたい。そのためには、子どもたちの思いを受け取れることが大切になるので、始業前の15分間や2時休みに、先生方が子どもたちと触れ合う時間を設定していく。 ・それぞれの担任が「連学年担任」という意識で、連学年の子どもにチームとして関わっていきたい。児童の困り感に早目に気づき、相談しながら対応できるようにしていきたい。 ・5、6年生の国語を教えていただく先生が着任する。他の教科でも担任同士で授業交換をしていくことで、専門性の高い授業、中一ギャップを防ぐ、いろいろな大人と関われるようにしていきたい。 ・校内に「まなび」という名前の教室を開設し、必要な場合は個別の支援が行えるようにしていく。
4	協議	<p>(1) 今年度の取り組みの見返し</p> <p>学校長：第1回は、市教育委員会から委嘱、規約の確認、自己紹介、正副会長互選、正副会長挨拶、日程の確認、運営、実践目標、こまゆみ教室について扱った。</p> <p>第2回は、参観日、音楽会アンケート、1学期学校評価アンケート、校舎を大切にする日、実践目標の取り組み、こまゆみ教室、第1回コミュニティ委員会、新型コロナの対応、働き方改革、150周年記念事業について扱った。第1回コミュニティ委員会は、感染レベルが高かったため、実施できなかった。</p> <p>第3回は、書面決議となり、校舎を大切にする日の内容変更、運動会、150周年記念事業について扱った。</p> <p>第4回は、運動会、なかよし参観等の子どもたちの様子、校舎を大切にする日の反省と今後の方向、ふるさと学習発表会、来年度のコミュニティスクール、学校運営協議会委員の選出、150周年記念事業について扱った。</p> <p>第5回は、書面決議となり、2学期学校評価の成果と課題、あいさつ・メディアコントロールの取り組み状況、学校目標、ランドデザインの見返しと改善に向けて、来年度年間行事予定、来年度コミュニティスクール実践目標、令和3年度活動報告、卒業証書授与式、転退職員紹介式、入学式、新任職員紹介式、150周年記念事業について扱った。</p> <p>第6回は、今年度の取り組みの見返し、150周年記念事業、来年度当初の学校運営協議会の予定について扱った。</p>

(2) 浦里小150周年記念事業について

教 頭：実行委員会の組織案については、PTA 評議員会で承認された。今後、PTA 総会で報告していきたい。今後の予定については、本日、学校運営協議会で検討、4月のPTA 総会で提案。その結果を受け、実行委員会を立ち上げていくよう進めていきたい。検討していただきたい点は2点。1点目は、令和4年度の組織について、150周年記念事業を行う年度の正副委員長で組織するのか、それとも、今年度の正副PTA 会長と学校運営協議会長、学校長で組織するのかという点。2点目は、日程について、第1回実行委員会や総委員会及び各委員会をいつ行うかという点。ご検討をお願いしたい。

委 員：140周年記念のバザーの時は、PTA 副会長の時、準備委員会を立ち上げ、翌年、PTA 会長の時、本番となった。

委 員：バザーは、4月に入ってから、その年度の組織で半年で準備をした。

委 員：令和4年度のPTA 会長が令和5年度の顧問として事業に参加すればどうか。

委 員：2年間、実行委員長としてやっていくということか。

委 員：今までの経験では、旧PTA 会長が実行委員長を務めていたことがあった。今年は準備期間なので、令和4年度PTA が進め、令和5年度は顧問として進めてもらうのがよいのでは。

委 員：それぞれの組織の長を決めれば、実行委員長の負担は少なくなるのではないか。

学校長：令和4年度に第1回の実行委員会を開き、推進日程などを決めていくのがよいのでは。

委 員：PTA 総会で、正副実行委員長を誰が務めるのかを提案することになる。

委 員：PTA 総会の提案は、誰が行うのか。

学校長：PTA 評議員会議決された組織案を、学校運営協議会事務局からPTA 総会で報告する。

委 員：どのような内容をやるかは、予算との兼ね合いもあるが、これから検討していく。

委 員：140周年記念の際は、その年の4月から動き始めて間に合った。

学校長：4名の実行委員会が令和4年度から動き初め、地域、保護者、児童からどのようなことをやりたいのか情報収集したり、バザーが必要であれば計画したりするなど、年間計画を立てる。実際に動き始めるのは、令和5年度からで間に合うのではないか。

委 員：令和4年度は、令和4年度PTA 会長、令和5年度副PTA 会長、学校長、学校運営協議会長の4人で実行委員会を立ち上げ、スケジュールを立てていくという方向で進めていく。

(3) 来年度当初の学校運営協議会の予定

学校長：4月1日に現会長にコミュニティスクールの説明を職員にさせていただく。6日が入学式だが、レベルによって在校生の参加の有無が変わってくる。入学式への参加と片付けをお願いしたい。8日の学校運営協議会で委嘱等が行われる。12日にお助け隊長会、15日に参観日、PTA 総会が行われる。PTA 総会で、正副会長に監査報告をお願いしたい。20日が交通安全教室、28日が遠足となっている。

委 員：遠足は、今年度と同じ目的地か。

学校長：1・2年生は、大法寺方面、3・4年生は、青木のリフレッシュパーク方面、5・6年生は夫神岳の予定である。

(4) その他

①PTA会計について

教 頭：3月25日(金)16:00から正副会長をお願いしたい。

②お助け隊オクレンジャー代金について

教 頭：1人当たり年間330円かかる。加入していただいている方は、100円の集金、残りの230円は補助としていきたい。補助金については、コミュニティ委員長から補助をしていた

だくことについて内諾を得ている。

③お助け隊オクレンジャー活用について

教 頭：お助け隊関係の通知を、オクレンジャーでお知らせしていきたい。また、簡単な活動報告を行う等、広報的な役割を果たせるようにしていきたい。

委 員：どのぐらい補助が出せるのか。

教 頭：全額出せればいいのだが、個人にも多少負担していただきたいと思っている。

学校長：全額補助金から出してもらっていいのかという思いがある。個人に多少負担していただきたいと考えている。

委 員：活動報告はどのように知らせるのか。

学校長：オクレンジャーの機能を使って知らせしていきたい。

委 員：活動報告はあった方がいいが、たくさん来過ぎると大変な部分がある。

学校長：その都度ではなく、定期的に配信したい。

学校長：年度途中の加入に関しても、個人負担は100円としたい。

委 員：個人で330円全額払ってもいいという方は、全額いただいてもよいのでは。

委 員：その方向でよい。

5 閉会の言葉